

---

## OpenJDK と ACS の稼働検証

---

無償提供の IBM Java のひとつの“OpenJ9 + OpenJDK (AdoptOpenJDK)”：以降 OpenJDK の Java で ACS（IBM Access Client Solutions）での稼働検証を行いました。

---

### 背景・課題

---

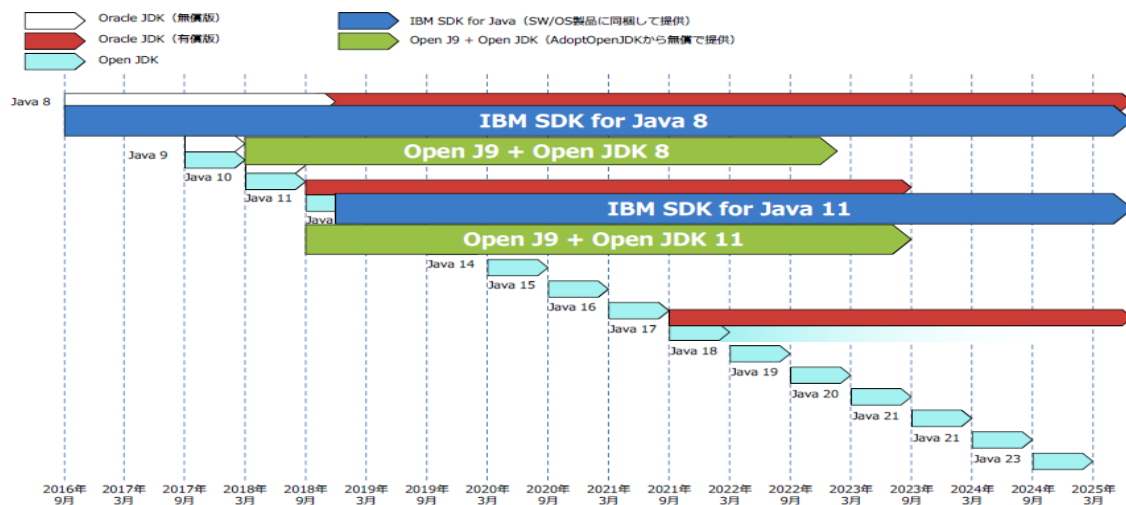
2019年1月以降に Oracle Java が有償化されます。

有償化の詳細情報は以下のリンクを参照願います。

- IBM Support for Runtimes というサポート契約を「PA」として提供可能です

[https://www7.i-guazu.co.jp/ja-JP/product/ibmssoftware/product/info/explain/summary/IBM\\_Support\\_for\\_Runtimes](https://www7.i-guazu.co.jp/ja-JP/product/ibmssoftware/product/info/explain/summary/IBM_Support_for_Runtimes)

### IBM Java のサポート期間



対策として、無償提供の OpenJDK への移行に伴い事前稼働検証を行いました。

移行までのガイドをパートナー様向けに「導入」から「設定」までの情報を提供します。

---

## 製品概要

---

製品名            OpenJ9 + OpenJDK (AdoptOpenJDK)

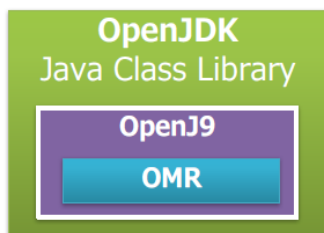
IBM Java では、“OpenJ9 + OpenJDK (AdoptOpenJDK)”の製品が無償提供されています。  
また、IBM Java としてもう一つ「IBM SDK for Java Technology」がありますが、Java  
の代表的な用途としては、クライアント用、サーバー用、組み込み用とあり、こちらはサ  
ーバー用途となります。(上記リンクの資料より抜粋)

## 二つの IBM Java



### IBM SDK for Java Technology

- IBM の商用ソフトウェア製品に同梱して提供
- 製品の実行用とでのみ利用可能
- 製品の一部としてサポートを提供



### OpenJDK + Eclipse OpenJ9

- OSS として無償でダウンロード可能
- 本番用と含めて自由に利用可能
- 別途 IBM からサポートを購入することも可能

---

## OpenJDK の導入設定概要

---

使用したハード/ソフト

Java 側                    : OpenJ9 + OpenJDK (AdoptOpenJDK)

ACS 側                    : Ver 1.1.8.1

OpenJDK のダウンロード。以下 URL から入手します。

<https://adoptopenjdk.net/releases.html?variant=openjdk11&jvmVariant=openj9>

導入から設定および、起動確認までを別資料 (OpenJDK\_ACS.pdf) にまとめました。

---

## 所感

---

Java が未導入の Windows に新規に OpenJDK を導入した環境で、ACS の導入出来ました。  
OpenJDK の Java 環境でコマンドベースで jar ファイル呼び出しで ACS が稼働することが  
確認できました。

但し、デスクトップ上にショートカットをインストールする形態では、ACS を起動しようと  
するとうまく起動できませんでした。

回避方法として、Oracle Java を導入することで起動確認が出来ました。

よって、事前に該当 bit 版の Oracle Java 製品オフライン版の入手をお勧めします。